

2024 年度 佐久大学人間福祉学部 4 年次生アンケート実施報告

I. 目的

本学人間福祉学部の教育内容、教育等環境についての満足度等を調査する。

II. 調査主宰

人間福祉学部教務委員会・学生委員会

III. 調査対象

人間福祉学部卒業見込みの 4 年生 36 名

IV. 調査方法

1) アンケート調査

学修支援システム manaba のアンケート機能を使用し調査を実施する。回答時間は 15 分間程度。

2) 調査日時

実施日：2025 年 2 月 28 日（金）

卒業ガイダンスの時間に学生に依頼して、その場で回答を求める。

データ収集期間：2 月 28 日（金）～3 月 3 日（金）

V. 調査内容

- 1) ディプロマ・ポリシーに関する習得状況
- 2) 学習姿勢
- 3) 実習状況および満足度
- 4) 国家試験支援への満足度
- 5) 学習環境、生活支援への満足度
- 6) COVID-19 感染対策の満足度
- 7) 図書館の利用について
- 8) 大学への要望等

VI. 調査結果

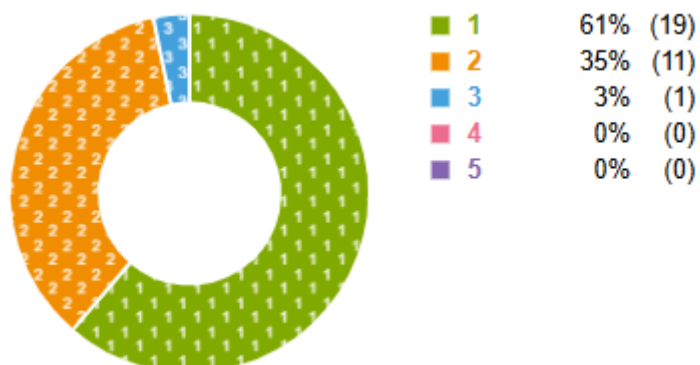
対象者数 36 名、回答数 31 名、回収率 86.1%であった。

回答肢：1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない 4. 思わない

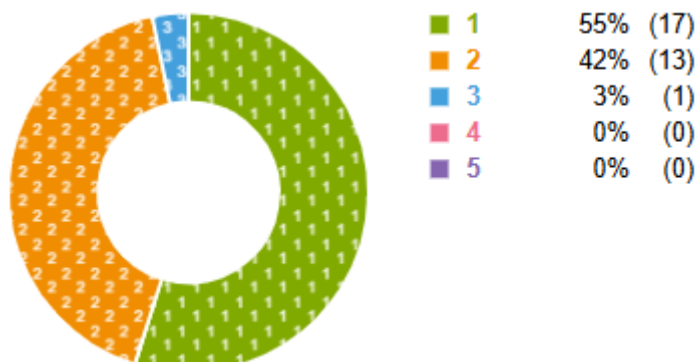
1. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に関してどのくらい習得できたか(5 択)

1. とても思う 2. まあ思う 3. どちらでもない
4. あまり思わない 5. 全く思わない

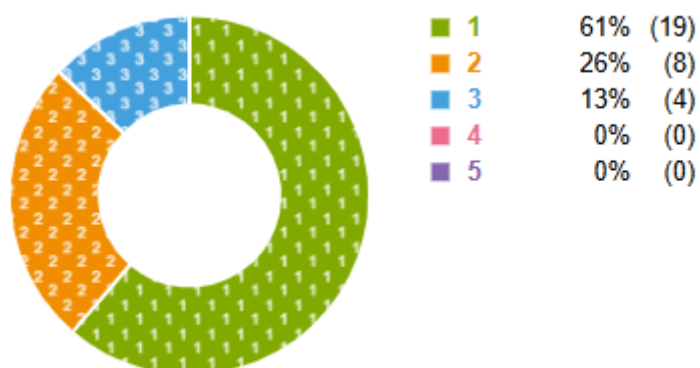
1)大学 4 年間の授業で、ケアの言葉の意味や、ケアに関する専門的な知識を得られた。



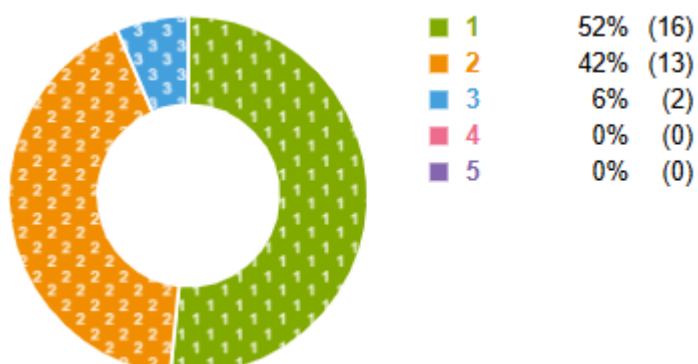
2) 大学 4 年間の授業で、ケアの具体的方法や技術を理解できた。



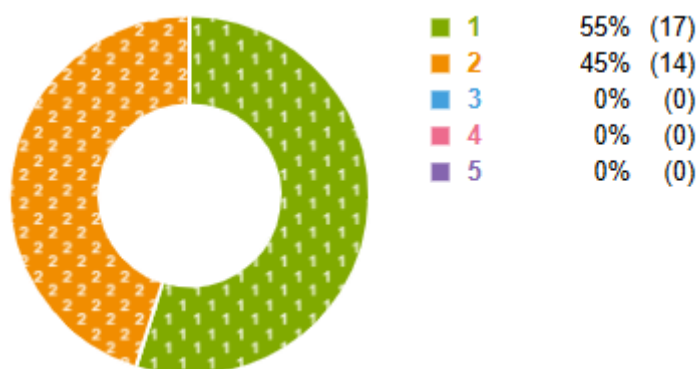
3) 大学 4 年間の授業で、多様な文化やものの見方を知ることができた。



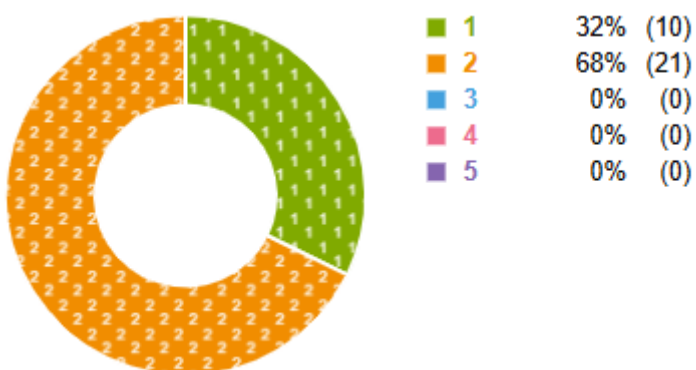
4) 大学 4 年間の授業で、多様な文化やものの見方を理解するための、幅広い教養が得られ



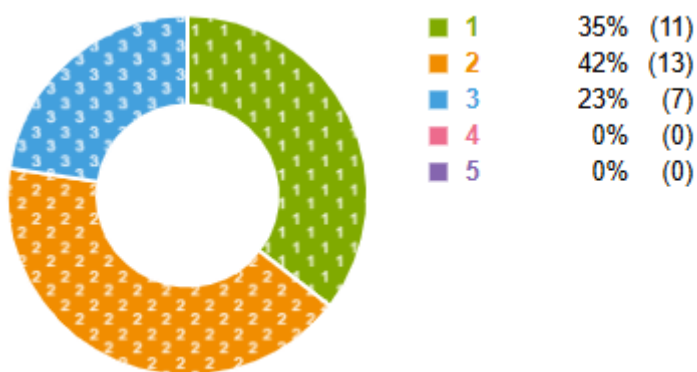
5) 大学4年間の授業で、社会や福祉に関わる諸問題を、幅広い視野から理解できた。



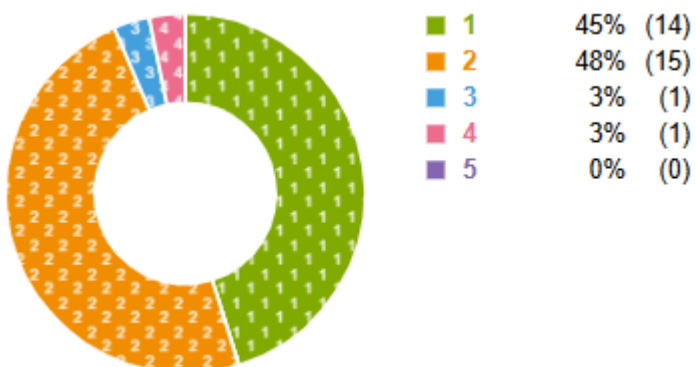
6) 大学4年間の授業で、社会や福祉に関わる諸問題を、筋道を立てて論理的に考え、説明できる能力が身についた。



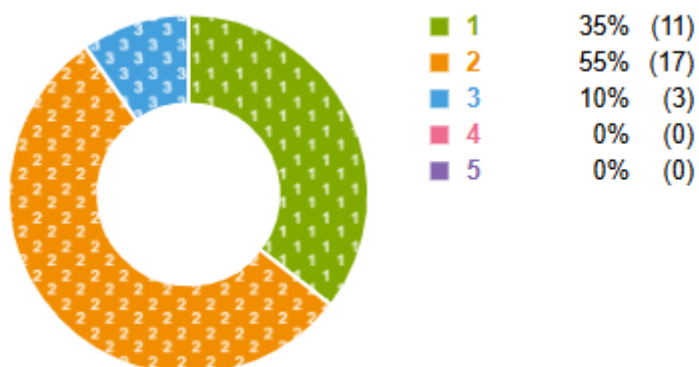
7) 大学4年間の授業で、現代社会の諸問題について、科学的な方法を使って分析する能力を身についた。



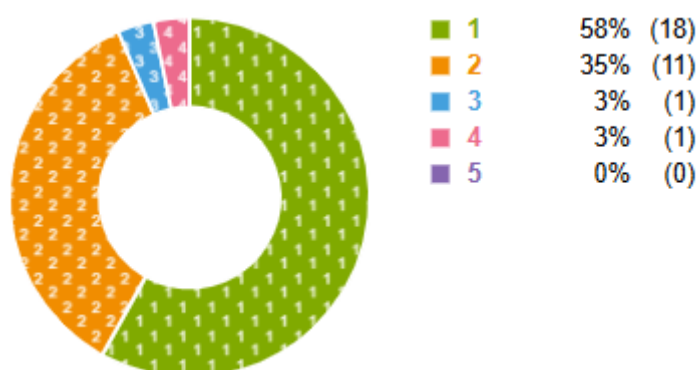
8) 大学4年間の授業で、現代社会の諸問題について、部分的ではなく、出来事全体を把握する能力が身についた。



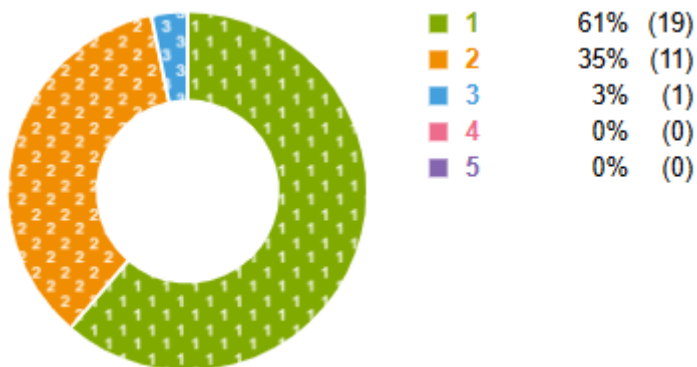
9) 大学4年間の授業で、人間福祉の基礎となる知識を用いて、地域の課題解決や取り組みに生かす経験ができた。



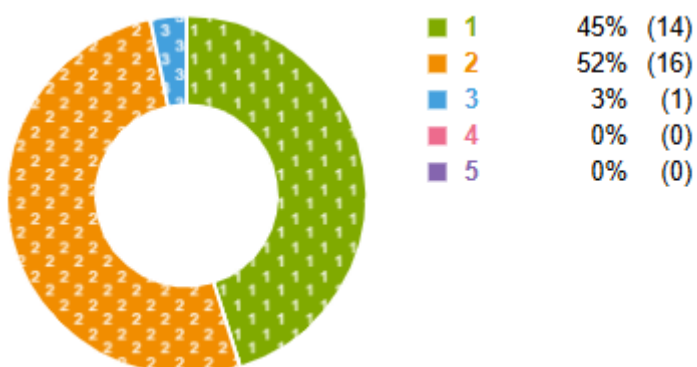
10) 大学4年間の授業で学んだことは、様々な分野に応用し、活用する経験ができた。



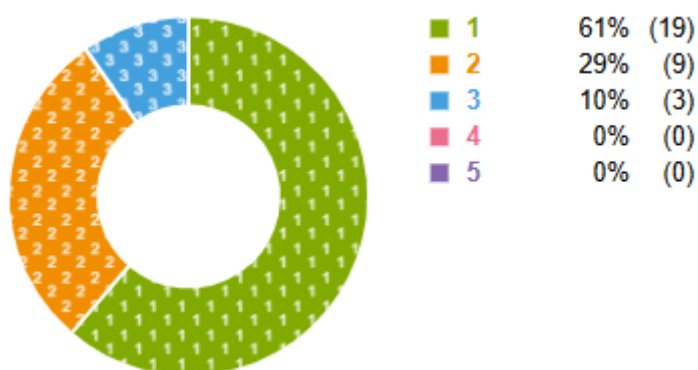
11) 大学4年間の授業で、人との関わりあいや対人関係で問題が生じたときに、対応できる能力が身についた。



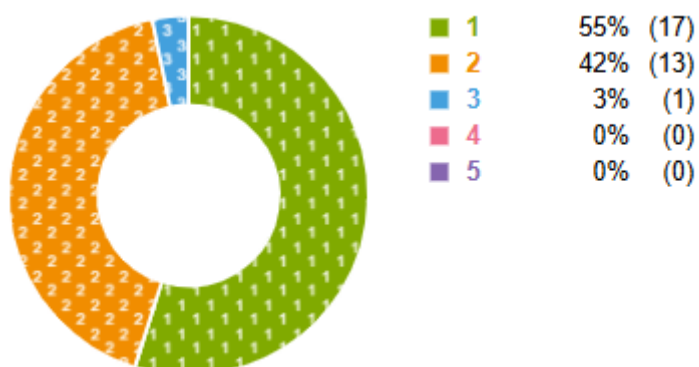
12) 大学4年間の授業で学んだことは、相談援助に関する調整や協働のイメージができた。



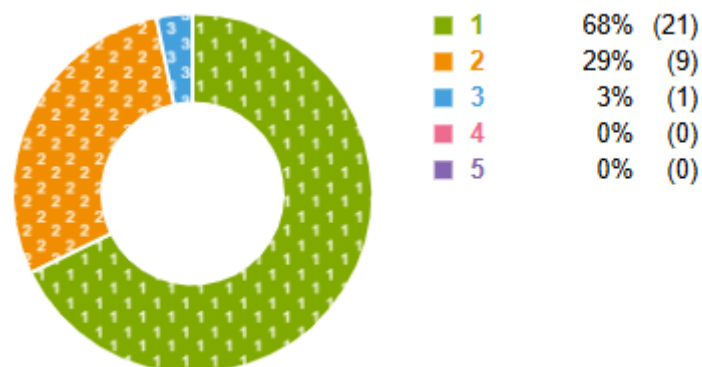
13) 大学 4 年間の授業には、他者の痛みや思いに対する関心を高めることができた。



14) 大学 4 年間の授業で、人と関わる仕事に必要な倫理観を学ぶことができた。



15) 大学 4 年間の授業を通じて、人間福祉に関する知識や技術は、生涯にわたって学習し続ける必要があることに気づいた。



16) カリキュラム全体について、良かったこと、改善してほしいこと、その他気づいたことを自由にご記入ください。(自由記載)

・精神保健福祉士の実習では、就職活動と重なったところがあったので、特に予定がない 3 年生の春休みで実習を行うと、個人的によかったかもしれません。

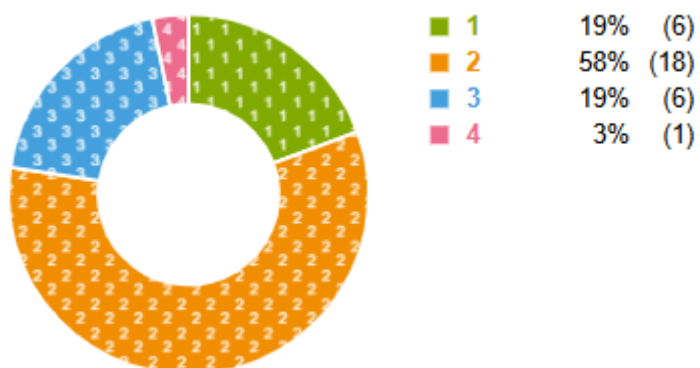
・全体として、とても良い科目が多く自身の人間性向上に繋がった

・社会福祉士の資格勉強に関わらず様々な知識をつけられる講義があったことが良かった。

・関連しそうな科目等がまとめてありわかりやすく、良いと思った。

2-1. 教務関係（学修姿勢）

1)ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を意識して学修した



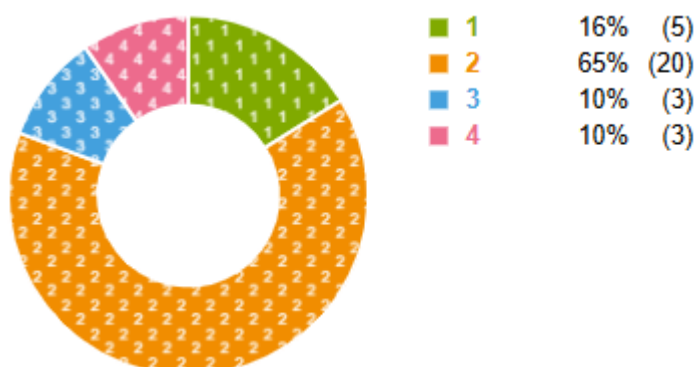
2)シラバスを活用して授業に臨んだ



3)1つの科目で学んだことを他の科目に関連付けて考えた



4)授業外学修（課題や予習・復習）に取り組んだ



2-2. 教務関係（学修経験）

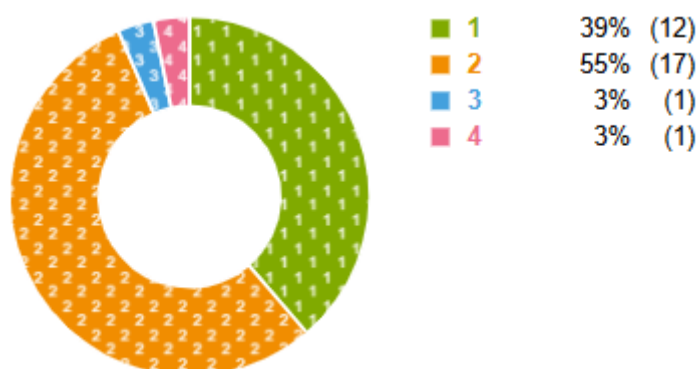
5)能動的学修（グループ討議など、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、能動的な学修への参加を取り入れた授業）では、主体的に学べた



6)manaba の活用により学びの幅や深まりが促進された

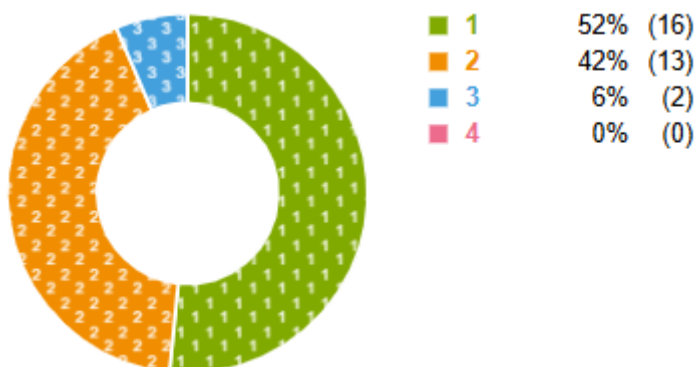


7)教員からのフィードバックは適切であった



2-3. 教務関係（学修の満足度）

8)授業を通じて知識・スキルが身につき成長できた

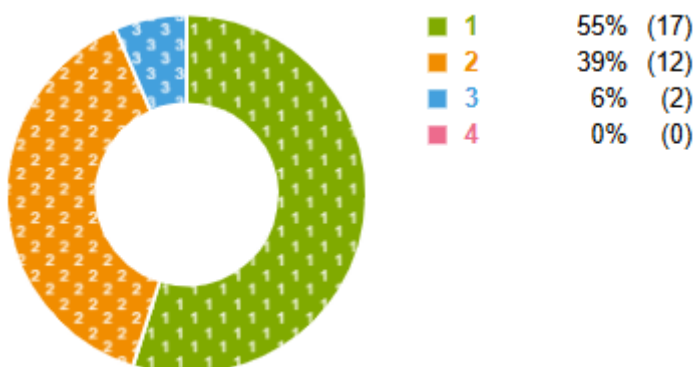


9)本学での学びは、入学時に期待していた通りだった

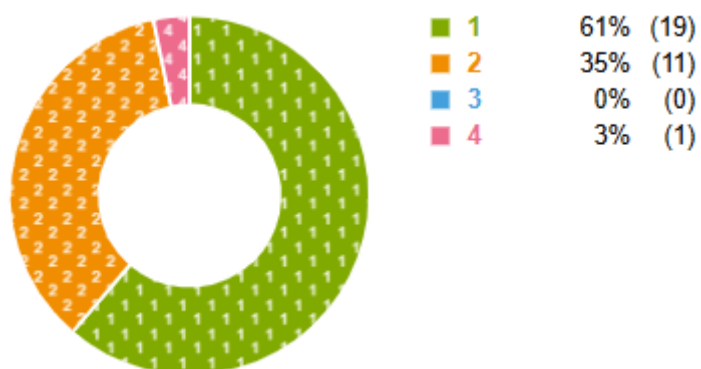


2-4. 教務関係（実習について）

10)実習で教員から適切な指導やアドバイスを受けられた



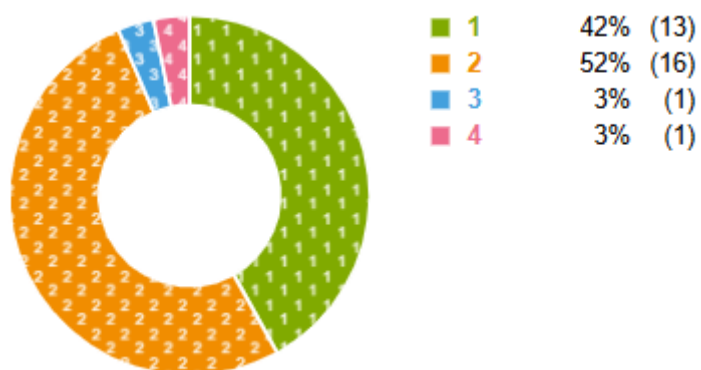
11)実習で実習指導者から適切な指導やアドバイスを受けられた



12)実習場所の環境は良好であった



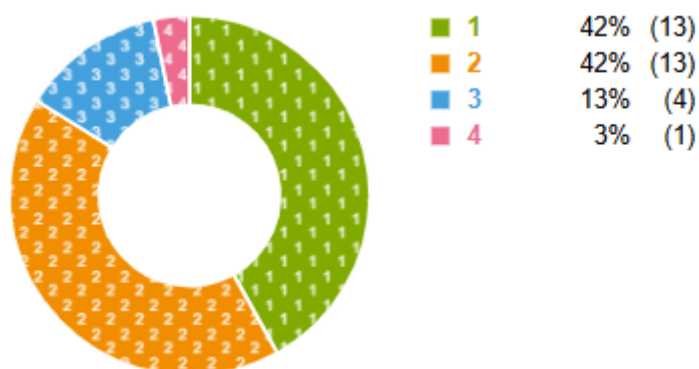
13)実習を通して臨地における専門職としての態度が身についた



14)実習を通して臨地における専門職としての基礎的な判断力が身についた



15)実習を通して臨地における専門職としての基礎的な実践力が身についた



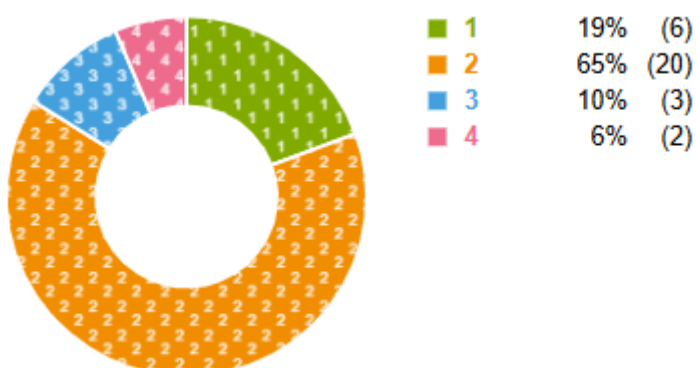
2-5. 教務関係（国家試験支援）

【社会福祉士／精神保健福祉士】

1)ソ教連模試および第1回・第2回中央法規模試の計3回の受験回数は適切であった



2)3年次3月から4年次はじめに開始された国試対策講座の実施内容は適切であった



3) 今後改善していくとするならば、どのような形で国試対策講座を実施していくのがよいかその考えを記入して下さい（自由記述）

- ・自分で各科目のまとめ表を作る。勉強の例を伝えていく。
- ・もう少し模擬試験の回数が多い方がよかった。
- ・模試を実施する回数をもう少し多い方がいいと思った。また、実施する時期が早い方が国試に対する意識も上がるのではないかと思った。

・manaba だけではなく、定期的に対面の試験を行っていくと、試験の臨場感が出て勉強のやる気が向上すると思います。

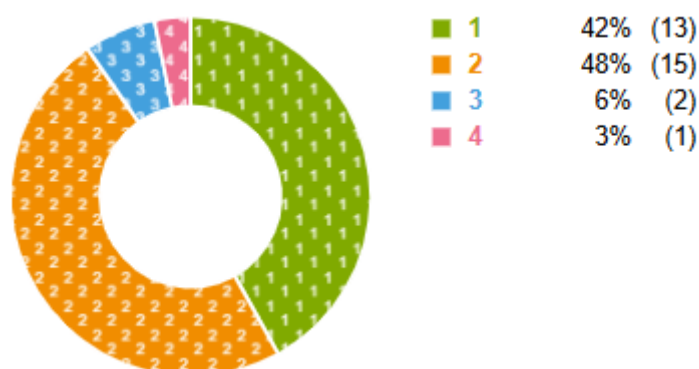
・模試をやる機会を、増やしても良いと感じた。

・直前模試があっても良いと思った。

模試を繰り返し解けるように問題用紙等を配布する仕組みを、学校・学部として提供してほしい。

・単位が与えられるような仕組みを作ること、より多くの学生が参加するようになると思う。

4) 教員による国家試験に関する学習支援（相談、学習指導）は適切であった



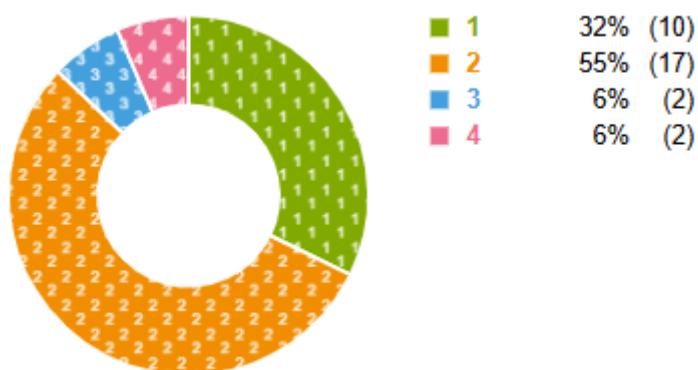
5) さらに望ましい学習支援の方法があれば、その方法について考えを記入して下さい（自由記述）

・可能であれば、図書館などの自習スペースを 20 時以降も使えるようにできるといいと思います。（家では勉強がはかどらないので、学校で集中的に勉強するため）

・申請等がなくても、勉強できる部屋を 20 時まで確保してほしい。

・自学自習の時間を作る

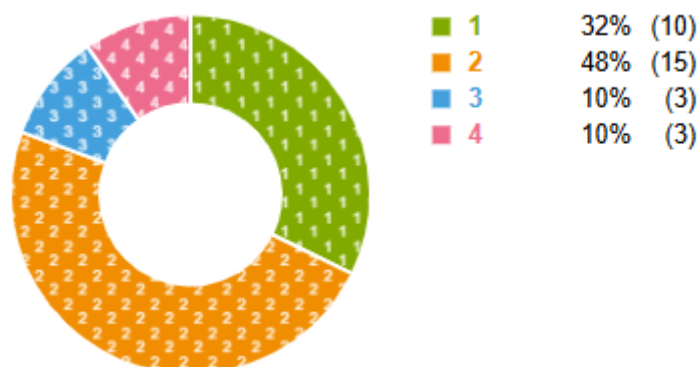
6) 「国家試験受験の手引き」説明会（9 月に実施）の実施時期は適切であった



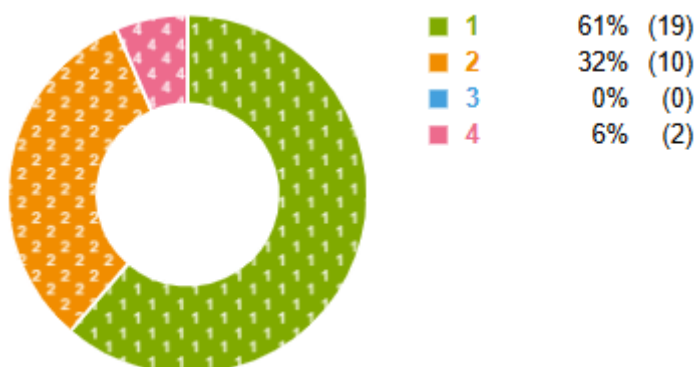
7) 上記の実施時期について（今年の申込期間は 9 月 5 日から 10 月 4 日まで）、別の期間に実施した方がよいと考える方は、その実施時期を記入して下さい（○月頃）（自由記述）

・回答なし

8)「国試直前ガイダンス」(1月に実施)の実施時期は適切であった



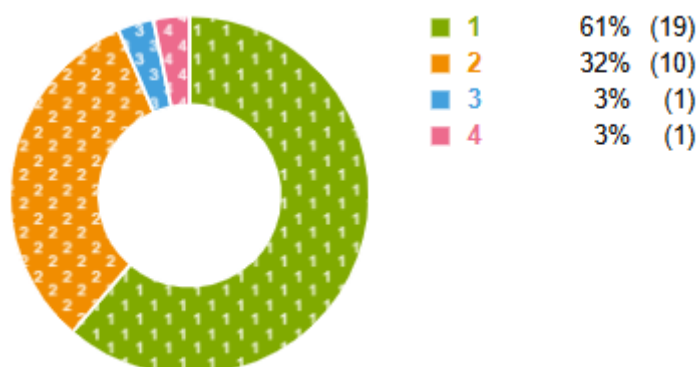
9)国試受験時の交通手段(新幹線等公共交通機関・ホテルの手配)に関する支援は適切であった



10) 国試受験の移動についての意見や提案があれば記入して下さい(自由記述)

- ・地下鉄を利用する際、Suica はあった方が良く、と伝えても良いと思う。
- ・もう少し受験場所に近いホテルにして貰えると移動がしやすいと思う。

11) 国試受験時の宿泊に関する支援は適切であった



12) 国試受験時の宿泊についての意見や提案があれば記入して下さい(自由記述)

- ・会場学校東京だとはぐれてしまうこともあったので、場所をかえてもいいのではないのでしょうか、
- ・精神のほうの宿泊施設はとても居心地、サービス、周辺の施設など使いやすく、よかったです。
- ・みんな同じ階にいて、とても安心できた。とても良かった。

13) あなたが本格的に国試対策の受験勉強を開始したのは何月頃からですか

- ・2024年9月頃 (2件)
- ・2024年10月下旬
- ・2024年12月頃 (5件)
- ・11月の終わり頃

14) その他、今後の国試対策支援について希望がある方は記入をお願いします (自由記述)

- ・回答なし

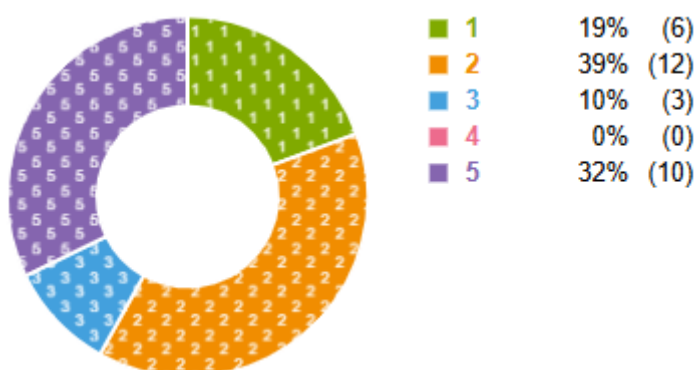
3. 学生生活 (大学生活に関する満足度)

1) 授業を受ける環境について

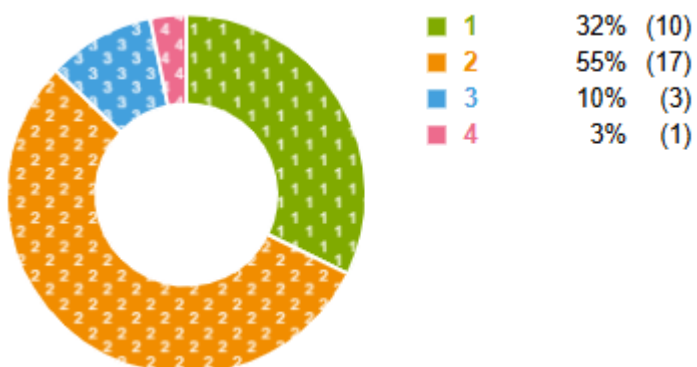


2) 学習支援「学び場」について (5 択)

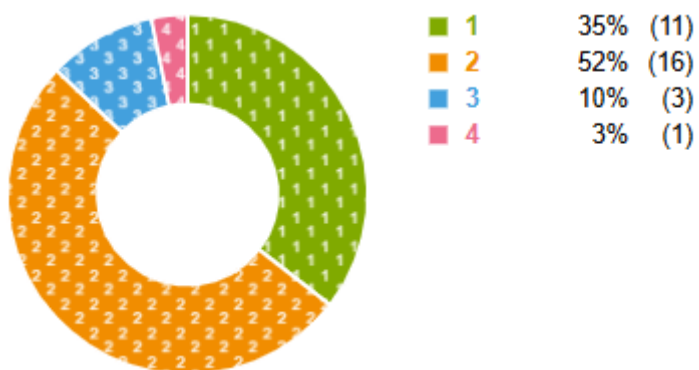
1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない
4. 満足していない 5. 利用しなかった



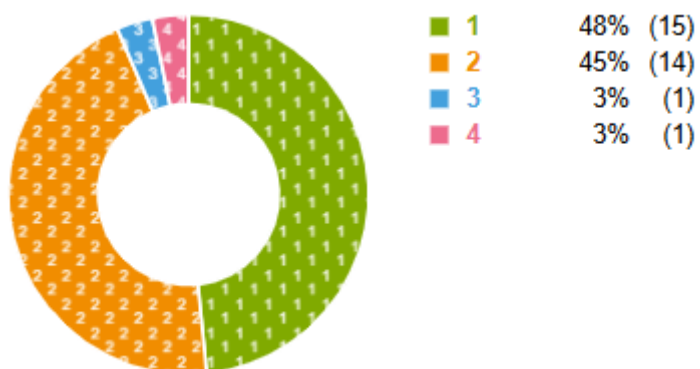
3) 「キャリア開発支援プログラム」について (以下 4 択)



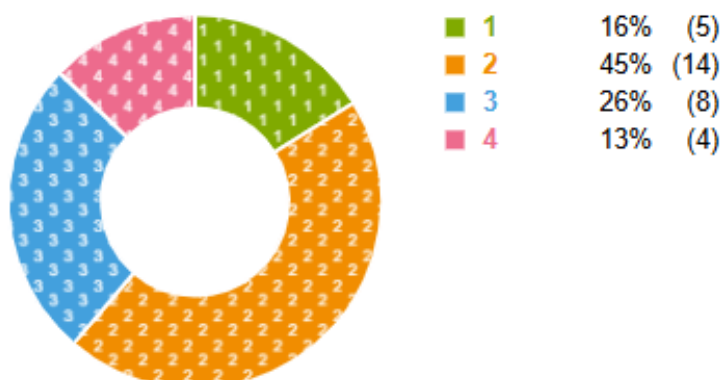
4) 事務室の学生対応について



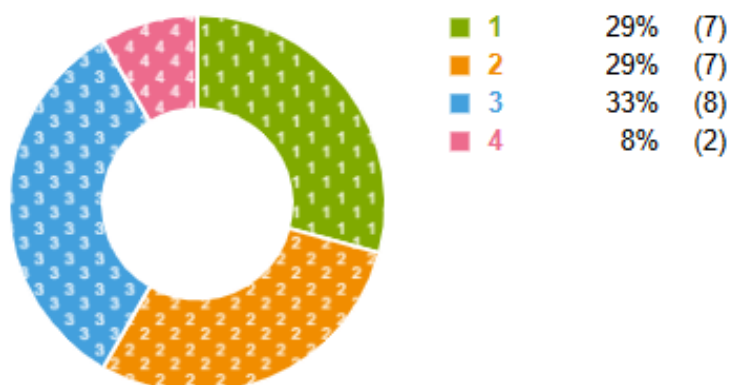
5) 教員の学生対応（相談）について



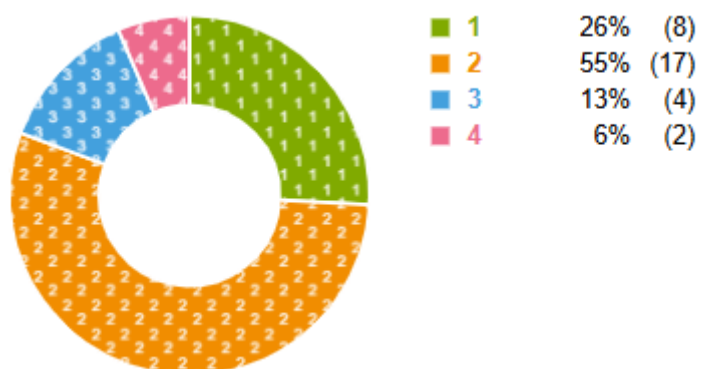
6) グループ担当制度について



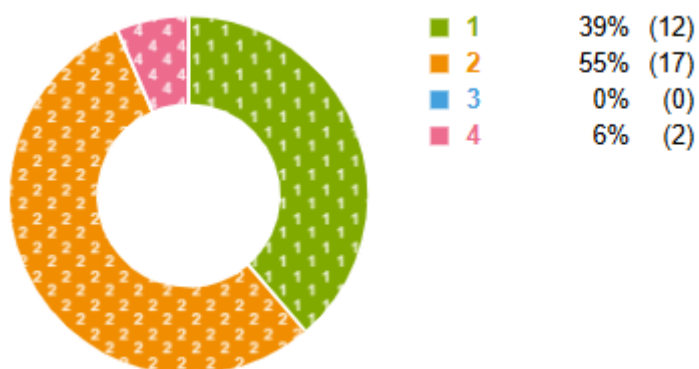
7) クラブ・サークルの活動参加について【該当者のみお答えください】



8) 大学生活の中で交友関係を広げたり深めたりする機会について



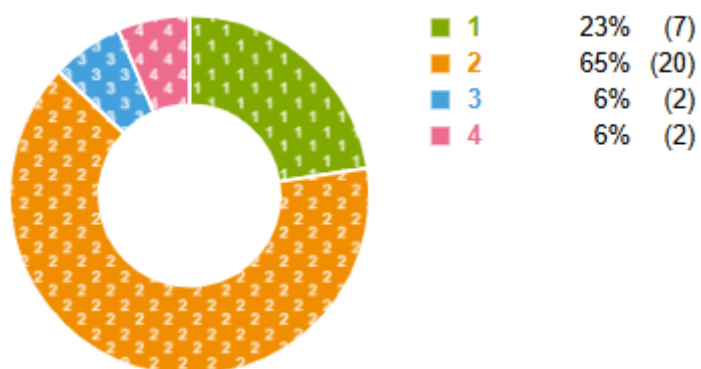
9) 身体的健康の支援体制（保健室や健康診断など）について



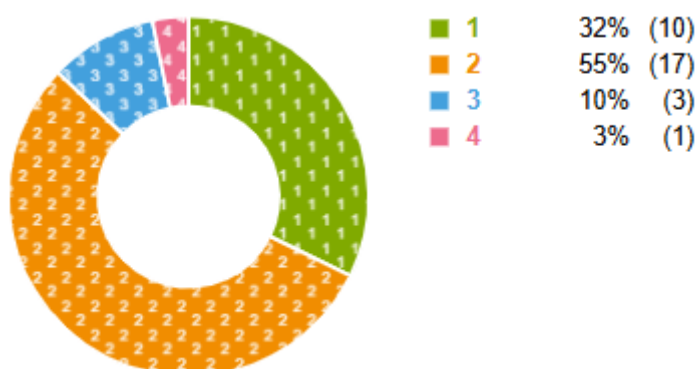
10) 精神的健康の支援体制（困った時の相談先やカウンセリングなど）について



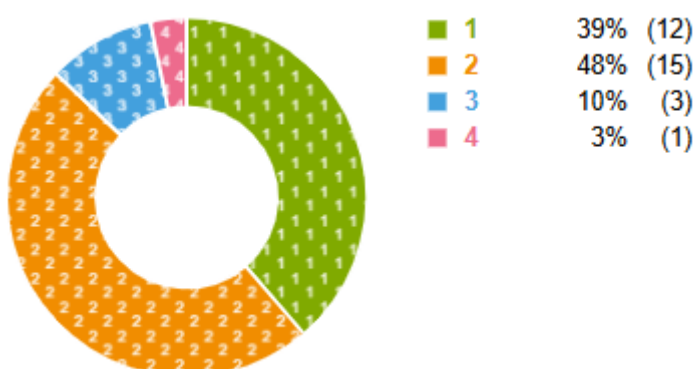
11) 奨学金やアルバイト紹介などの経済、生活面の相談支援について



12) 授業時間外に学内でのくつろげる場所について



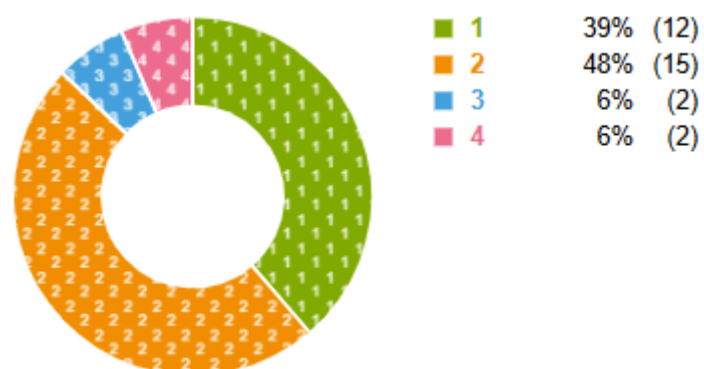
13) 総合的にみて、この大学での学生生活について



4. COVID-19 感染対策、そのほか（就職支援）

COVID-19 は、令和 5 年 5 月に 5 類に変更となりましたが、それ以前の皆さんが 1,2 年次時の本学の COVID-19 感染対策についてお尋ねします。

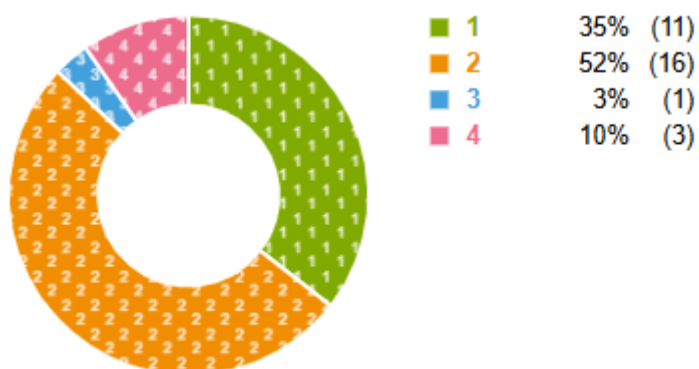
1) 大学からの情報発信は適切であった



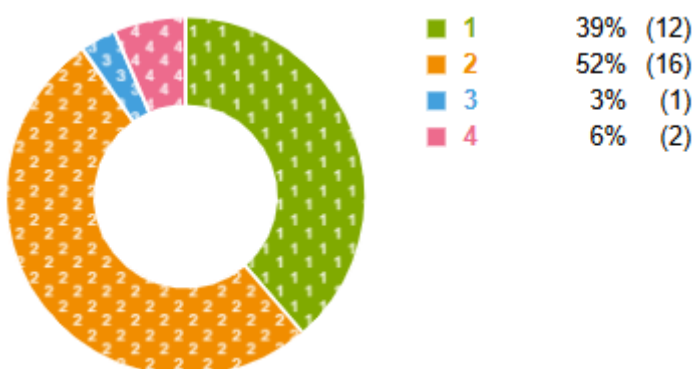
2) 大学の感染拡大防止対策は適切であった



3) 遠隔授業に関する学習環境への支援は適切であった



4) 進学・就職に関する支援は適切であった



5. 図書館に関する事項

1) 図書館を活用して学修を進めることができた



2) 図書館は学修を進める上で役に立った



3) 本学の図書館の資料・設備・サービスについて概ね満足している



6. その他、ご意見等がございましたら、お書きください。

- ・1年次での基幹科目に対する説明を厚くしていただけたらありがたかった
- ・奨学金のことについてももう少し説明があったら良いと思いました。
- ・教員との距離が近くてとても楽しかった。ただ、教員の体調などが心配になった。その人ごとの強みをいろんな人が把握していて、とてもすごいと思った。
- とても充実したキャンパスライフを送ることができました。ありがとうございました。
- ・防犯上仕方ないと思うが 18:00 以降に 6 号館の 1 階意外にも 1 部でいいので学生が使えるスペースを設けて欲しいと感じた。普段はいいのだが、テスト前や国試前などは座る場所や学習するスペースが乏しく勉強及び課題が進めにくかったからです。
- ・学生の居場所作りや国家試験対策など、学校・学部としてどこに頼っていいか分からず、一部の先生に頼りきりになってしまったため、学校・学部として、学生の困り事をヒヤリングし、即対応出来る場・機関を設けて欲しい。
- ・学部が増え、人間福祉学部の学生数も増えたため、食堂等の利用が一年時と比べ困難になったように感じた。また、夏場は食堂の冷房が効いていないこともあったため、食堂の利用を希望する人が可能な限り使えるように工夫をしてほしい。
- ・特にないです。ありがとうございました。
- ・遠隔授業は大学ではなく自宅でも変わらないのではないかと思います。